

# 新春随想

## ほの見た「精神の自由」

**安田典夫** (昭和47年卒)  
(岩見三内中教諭、潟上市在住)

私は昭和四十七年卒ですから、制服着装自由化の時の三年生にあたります。当時の学生は熱い息吹を今でも思い出します。一年生の四月、隣の席のI君にこう問われたことがあります。「君は今の日本、平和だと思うか?」。西洋音楽しか頭になかった私にとって、この問いはレベルが高かった。吹奏楽のうまい秋高に入れたし音楽の個人レッスン先も見つかったし、私は迷うことなく「んー、平和だと思うよ」と答えました。

I君はチツと舌打ちをし、以来私にまともに話しかけることはありませんでした。当時の私にとっては、制服の自由よりもドレミファの自由すなわち調性からの解放が第一の関心事。ドビュッシーの真似事なんかをし、一人悦に入っているような状態だったのです。

そんな私が、校内のアジ演説や「友よ」の歌声が懐かし

いと言ったところで、まったく説得力はないのですが、卒業して三十六年、やっぱり熱き彼らが今でも思い出されます。それだけあの三年間は強烈だったということですね。なんと、今ではそれを得意げに後輩に語ることさえある(I君、許せ)。

さて現在の私ですが、ちんどん屋をやっております。も

ちろん趣味としてです。それでも「ダースコちんどん隊」という「屋号」で年五十から六十の現場をこなしております。秋田では純粋な「宣伝」の仕事はほとんどないので、ステージ、賑やかし、ライブなど、県内はもとより岩手、青森、東京、大阪、京都、神戸など県外でもやらせてもらっています。

ちんどんを始めたのはまったく音楽的理由からなんです。おそらく本業を退職すればそのままちんどん屋に突入、ということになるでしょう。

この原稿の前半と後半は何か関連があるのかな?とお思いでしょうが、残念ながら関係なさそうです。本当は、何か結びつくものがあるのかなーと書き始めたのですが、やっぱり何もありませんでした。単に「思い出」と「現状」ということになっ

## 50歳すぎから「ちんどん屋」



てしまいましたが、でも、何となく見えていたのが「精神の自由」。うん、なかなかうまく書けませんでした(謝)。

### ユアビルサービス

代表取締役

**小畑 悟**

(昭和34年卒)

秋田市山王三丁目1番7号  
TEL 018-823-1251(代)  
FAX 018-867-1121

### 高木内科胃腸科医院

**高木 紘一**

(昭和34年卒)

〒011-0936  
秋田市將軍野南四丁目6番20号  
TEL 018-845-1118

秋高創立120周年モニュメント  
「風の舞」生徒昇降口設置  
アトリオン広場、秋田県立美術館  
その他にモニュメント設置

日本美術家連盟会員  
彫刻家

**遠藤 洪平六**

(昭和34年卒)

アトリエ 〒198-0036  
東京都青梅市河辺町3の1089  
TEL・FAX 0428-24-8386



人のそばに、夢のそばに。

**Yamani**

株式会社 山二

代表取締役社長 **西村 紀一郎**  
(昭和34年卒)

秋田市中通二丁目5番20号 〒010-0001  
TEL 018-833-6611代表  
FAX 018-833-6619